

住民が主人公の安心して生活できる元気いっぱいの泉川のまちづくり



# 泉川 まちづくり新聞

2011 第10号  
平成23年3月31日  
泉川まちづくり  
協議会



表彰状  
優勝  
大好き泉川子Aチーム殿  
貴チームは第4回ふたに駅伝  
大会において参加チームの中で  
チームワークを発揮し頭等の  
成績をおさられました  
よってその栄誉を賞します  
平成23年2月13日  
三谷地区コミュニティ協議会  
会長 佐々木 宏





## 学校支援地域本部

泉川校区では、泉川小学校・泉川中学校の学校活動を地域のみんなの力で支えていく活動を展開しようとして、「学校支援地域本部事業」に取り組んでおります。

もう4年前になりますが、学校の校庭を「奇麗にしませんか」と呼びかけたところ、先生や地域住民、約100名の人が参加し一日で見違えるような美しい校庭になりました。学校の為なら一肌も二肌も脱ごうという人が泉川校区には沢山いることを知りました。以来、そんな地域のパワーを結集してさまざまな取り組みに着手しております。

この事業に関わることで子どもたちとふれあい、子どもたちが地域の中で主人公になり一人前の大人に成長していく過程で、大人は子どもの良き手本になる行動を示せるような、そんな泉川を目指しております。

大人が変わらなければ子どもは変わりません。子どもは大人の背中を見ながら育っていきます。

子どもが「あいさつ」ができないと嘆くから大人がまず「あいさつ」をしなければならぬ。子どもは友だちづくりが上手でないと指摘するならば、大人は近隣の人の絆を深めなければならぬ。子どもが学ぶ意欲を持たないならば、大人は自ら学ぶ姿を見せなければならぬ。

これからは学校、家庭、地域が一体となり子どもの成長を一緒に見守っていきこうではありませんか。

今後共、さまざまな「学校支援地域本部事業」の活動を紹介しますのでご支援・ご協力の程お願い申し上げます。



## 環境美化部会

平素より当部会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成22年度の活動報告ですが、当部会では泉川校区の環境と美化を重点に取り組みを行いました。環境面での主な事例として、小中学校の環境整備を行いました。敷地内にある樹木の選定等を地域の皆さんや企業関係者のご協力のおかげで予想以上にきれいにすることができました。また家庭からの資源リサイクルや不用品回収・生ごみの堆肥化などにも取り組み、貢献できたのではないかと思います。

美化面では、年2回の花いっぱい運動や大好き泉川運動を行いました。泉川校区の所々に地域に皆さんと花植えを行い、校区全体を花で飾ることができました。また大好き泉川運動では、校区内のゴミ拾いなど美化活動を積極的に行い、特に国道バイパスの管理では国土交通大臣から表彰される全国数少ない賞を受賞することができました。



以上のような取り組みを当部会では行いましたが、今後もこのような活動を継続的に行っていくつもりです。そして、次世代の子どもたちのために、今まさに私たちの手でこの泉川校区の環境美化を推進し、美しいまちにしていきたいように。



# 地域福祉部会

12月25日(土) 実施

社会福祉協議会泉川支部で昨年に引き続き校区内の「独居高齢者」「在宅老夫婦世帯」等を対象に民生児童委員の方々に依る調整のもとに63名の方々に2000円の寸志と連合自治会女性部の皆さん方に依る手作りの「赤飯」泉小2年生に依るメッセージを添えて民生児童委員、見守り推進委員、泉川っ子、自治会の皆さんで、高齢者宅へ配布していただきました。ありがとうございました。その時に高齢者宅へ届けられた泉小2年生のメッセージを1枚紹介しましょう。



「おじいちゃん、

おはあちゃんへ

お元気ですごしてください。さびい中でいいじょうぶ。おはあちゃんへ、おじいちゃんには元気ですね。おじいちゃんとおはあちゃんはやさしいですね。お手紙かいたよ。お手紙だいいにかさってね。きょうはくりすますイブですね。くりすますイブたのしみにしていましたか。よいお年をおどかえ ください。」

## ・年輪の会

毎年12月に校区内に居住する人生の節目である「喜寿」の方をお迎えし泉川公民館にて長寿をお祝いする行事が開催されます。

平成22年度は55名の該当者の内32名の方々が出席。12月18日(土) 11時より公民館にて実施されました。



社会福祉協議会泉川支部長、村上孝明さんの主催者の挨拶のあと、新居浜市長 佐々木龍さんのお祝いの言葉。来賓の紹介、記念品贈呈、泉川っ子代表によるメッセージ、泉小のみなさんに依る手作りの「メダル」の贈呈。市長を交えて屋外で記念撮影のあと、当日出席者に配布。あと昼食のひとときお酒も入り、泉川まちづくり協議会の取り組みをDVDで観る。続いてアトラクションに入り、最初に鳥嶋民謡会の民謡披露。次は、東田ライリストによる大正琴演奏等、参加者一同楽しんでおられました。最後にお祝いの言葉を藤田勉まちづくり協議会長、今西光昭公民館長より頂き閉会しました。



## ・泉川感謝祭

社会福祉協議会泉川支部主催により9月18日(土) 10時から「感謝祭」が盛大に開催されました。村上孝明支部長の挨拶のあと今年金婚式を向かえられる22組の皆さんに、表彰状の授与がありました。誠にめでたうございました。同時に善行表彰として7名の学校の日頃の活動に対して表彰状が手渡され、日頃、校区の為に地道なご尽力に対し感謝申し上げます。ありがとうございました。式典では泉川っ子達がお手伝いしていただきました。式典では泉川っ子達がお手伝い

下さり大役を果たしました。お祝いの言葉が今西光昭館長よりあり、あとアトラクションに移り、鳥嶋民謡会の民謡、東田ライリストの大正琴、田坂浩三さんのトランペット演奏、泉小合唱部の出演があり、感謝祭行事終了後は連合自治会女性部による恒例の防災なべ(いもだき)がふるまわれ、参加された皆さんは楽しいひとときを過ごされました。





# 生涯学習部会

生涯学習部の本年度は10回の講演と生活・介護支援サポーター養成研修の支援の事業を他の部会と共同を含め実施することが出来ました。地域の皆様のご協力ご参加に感謝いたします。事例としては、

第1回 「地域の安全マップづくり」(安全安心部会と共同) 地域が繋がりに知恵を出し合い伝えることを学び実践に着手しています。継続実施によって伝え合い地域の輪を広げて行きます。

第5回 郷土の偉人「遠藤石山の教え」について昨年の書籍の発行と講演のフォローを行い先人の思想や業績について学びました。

第6回 最近の話題の人である枝廣先生の「うつ病もぶっ飛び笑いの力」と寄席では健康には笑が大切であることの講演を実践されました。

第7回 大島青松園のハンセン病強制隔離の歴史と今の状況の講演では人間の尊厳、生きる喜び等学ぶべきものが多くありました。可能であれば来年度は交流訪問したいと希望が出ています。

第9回 「あかがねのまち笑顔輝く」近代産業遺産を活用したまちづくりについての講演では、特に私たちは別子往還道を都市づくり活かしに行く観望者ではなく、演出者になってもらいたいと訴えられました。



来年度は、皆様方から頂いた本年度のご要望の積み残しのテーマと新しく課題、要望を皆様方からお受けしたものを部会で協議して推進してまいります。地域の特異な講師の方を含め公民館、部員へお知らせください。



# 健康づくり部会

健康づくり部会では「健康で楽しいまちづくりは、まず健康から」をキャッチフレーズに、地域の皆さんとの出会いの場での「ミニミニ」の力を大切に楽しみながら健康づくりに取り組んで参りました。

泉川健康づくり10カ条を基に「運動」「食事」「医療」の3つの方面から専門の先生方の講演、ご指導を頂きながら活動をすすめてきました。

3本柱の運動面では、かねてからの念願でありました泉川校区の「泉川健康体操」を完成することができました。

新居浜市、県の生涯学習講師・青木三恵先生のご指導のもと、体育振興会の協力も得て、部員一同練習を重ねてきました。この体操は、サランラップの芯(エゴ)を使つてのストレッチ、肩こり、転倒防止、失禁、筋力アップを取り入れた体操です。

昨年の5月12日第1回泉川まちづくり協議会にあたり「泉川健康体操」のお披露目することが出来ました。70余名の参加者の皆さん楽しみながら大満足の様子でした。

そして、今度は5月16日恒例の町民運動会で校区全体の皆さんにお披露目することになりました。ご披露の後、青木先生から体の動きと効能について詳しく説明を受けながら全員でラップを持つての健康体操です。和気あいあいの中、盛り上がりました。その後、公民館では協議会、各種団体の会合の前に健康体操を行つてから始めることをお願いし、今現在、月に5回普及活動をしています。徐々にですが定着しつつ、広がりを見せているように思います。

その他に、体育振興会の地域スポーツ育成事業にも参加し、校区軽スポーツ大会、子どもスポーツ健康教室、高齢者健康体操教室なども体操を行っています。

食事医療面では、7月24日大好き泉川の子どもの心を交えて「こーや料理教室を開催。8月20日新居浜食生活改善推進協議会会長 秦 栄子先生による「健康生活を維持するための」に、生きて、生かされて、生き抜いて、と題しての講演開催。

8月11日「健康まつりのお手伝い。12月4日、ウォーキングで広がる地域の輪、をキャッチフレーズに泉川小学校PTA、子ども育ちを支える部会との共催でウォーキング大会開催。

1月21日「全総合病院薬局長小笠原先生による、高齢者と薬について、の講演をふるさと塾と共催で開催。

2月12日保険センターによる新居浜市食育推進計画策定のためのグループインタビュー、意見交換会の開催。以上のような活動をおこなってきました。

健康づくり部会では、校区の皆様がいままで元気で健全な生活ができる地域づくりを目指したいと思っております。自分の健康は自分で守る。皆さん健康づくりに参加してみませんか!!





## 安全・安心部会

当部会の活動に日頃よりご協力を頂き、まずはお礼申し上げます。平成22年度を振り返り振り返り主な活動をご報告いたします。

### ・ブロッコ別防災訓練

「地震等の災害から身を守る」ため防災意識をさらに末端までの浸透を図るべく松木坂井、下泉、瀬戸寿の各自治会で防災訓練を実施しました。多数のご参加を頂き、また消防署、消防団ならびに関係各位のご協力に感謝いたします。新年度は、上泉ブロッコから順次行つて参ります。

### ・火災報知器の設置普及促進活動

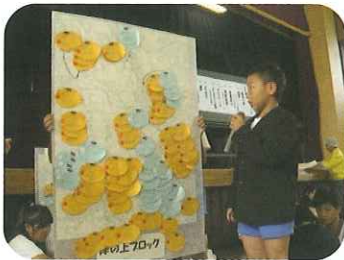
「火災から身を守る」ため地域の皆様のご家庭に火災報知器を設置するお手伝いをさせて頂いていただきました。他の校区からも購入の要望があるほど好評で、約千個販売しました。

### ・安全・安心マップづくり

「大切な子どもたちを守る」ため「みんなで見守り、安全・安心マップづくり」を実施しました。

子どもたちの目線で通学路の安全を確認し、マップに示しました。学校、PTA、まちづくり協議会など、地域が一体となつて取り組んでいただきました。小学校体育館に小学生、商業高校生、地域からと総勢800人近い人の参加で体育館の中は熱気でいっぱいでした。ご協力ありがとうございました。

最後に、このように当部会活動はやってみたい楽しいものです。ごなださまでも気軽にご参加下さい。お待ちしております。



## 子育て 泉っ子

### ★子育てサロン『いずみっこ』へのお誘い★

平成17年3月15日、泉川校区の「子育てサロン『いずみっこ』」が産声をあげて、満6年が経過いたしました。

この「子育てサロン」開始のきっかけは、当時、核家族化が進む中、子育てに慣れないお母さん方が精神的に不安定となり、子供さんを虐待する事例が多発いたしました。

このような現状を踏まえ、当市の民生委員児童委員協議会から、各校区に「子育てサロン」を開設するよう指導がありました。泉川校区としても各関係者のご意見をお聞きした結果、社協泉川支部事業として取組むことになりました。



当校区には、瀬戸児童館・泉川保育園があり、当サロンの運営について適切なご助言・ご指導を頂き、順調な滑り出しとなりました。また、子育てサロンのボランティアとして泉川校区の民生児童委員さんが、毎回10名前後駆けつけていただき、実り多い成果をあげています。「子育てサロン」の進め方は、お母さん方のストレス解消を主眼に、①お母さん同志の語り② 民生児童委員さんとの子育てよもやま話、③体育館内での軽スポーツによるリフレッシュ、④近くの公園での手作り弁当でのお食事等々、お母さん方の心身リフレッシュを第一とした運営に心がけています。

今年度締める「子育てサロン」を3月15日に開催いたしました。お母さん14名と、子どもさん20名が参加されました。この3月で保育園・幼稚園に通われる方は9名で、少し寂しくなりますが、新たな子供達やお母さん方を迎え、心機一転明るく楽しい「子育てサロン」を目指して進めてまいります。皆さんのご協力をお願いいたします。

今年度も引き続き「子育てサロン」を開催いたします。子育て真っ最中のお母さん、そして元気で明るい子供さんのお越しを心からお待ちいたしております。



### 子育てサロン『いずみっこ』へのご案内

- ★ 対象者： 3歳未満の未就園児とお母さんなど
- ★ 開催日： 月1回 第3火曜日（8月はお休み）
- ★ 時間： 午前10時～11時30分
- ★ 場所： 泉川公民館 和室
- ★ 会費： 母子1組 1回 100円



子どもの育ちを支える部会

部会のなりたちは、地域主導型公民館への移行に伴って、校区内では、それまで実行委員会組織で準備を重ねてきた中で、愛護班を発展的に改称、これまでの縦割りの考えを改め、子どもに関係する活動を行っている団体を繋げて横断的なネットワークの構築を目指しました。昨年4月に泉川まちづくり協議会が正式に発足し、「子どもの育ちを支える部会」として2年を経過いたしました。

愛護班から引き継いだ大好き泉川つ子体験教室、また学校支援地域本部事業への取組み等が好影響を及ぼしています。部会では、今までは連携が弱かったスポーツ少年団や自治会、子ども太鼓台運営委員会なども連携を図りました。

これまでの取組により、子ども達に自然、職業、文化、異年齢体験などの機会を与え、地域の人にも子どもの姿を目にする機会が随分と増えてきています。また、子ども達は地域社会の中で様々な人とふれあい、体験を重ね、立派な地域の一員に育ってくれていると実感しています。

大好き泉川つ子体験教室は、公民館で毎週土曜日の午前中に体験の場を提供する、また子供の居場所づくりとして活動しています。22年度は42回実施しました。子どもたちの現状などを考えるとき、大人と子どもの関係の中で「コミュニティの構築を図っていくことが大切だと思っています。」



今年3回目となる室戸青少年自然の家の体験活動、子どもたちが家庭を離れ、公民館で3泊4日の日程で仲間と協力しながら学校に通う通学合宿、地域の大人と子どもと一緒に太陽の日差しを浴びながらまち歩きを楽しんだウォーキング大会など、すべて地域の大人とのマッチング活動です。どれもPTA、婦人会、安全に対しては、見守り隊に協力していただきました。こうした事業を行うことにより、まちづくりの機運、子どもに対する関心やお互いが知り合える絶好の機会として、また、地域の教育力が高まっていくなことを願っています。



大好き泉川つ子体験教室で学んだこと

泉川中学校一年 五東 優衣

私が公民館活動に参加するきっかけは、近所のお友達に誘われたことが始まりでした。大好き泉川では、地域の方々が私たち小学生を対象に毎週土曜日に時間をさいて下さり、泉川の良ところや歴史、伝統などを教えていただきました。

私が残っているのは5・6年生を対象に行われた通学合宿です。通学合宿では、グループに分かれ朝晩の買い物や調理などをしました。このことを通じて家族のありがたさがよくわかりました。

もう一つは毎年行われている室戸青少年自然の家に参加したことです。集団行動の難しさを学ぶことができました。いつも相手のことを考えながら、行動することの大切さがよくわかりました。また、先輩に優しくしてもらったり、逆に先輩の手助けをしてあげるといふ大切さも学ぶことができました。

今までにお世話になった地域の方に恩返しができるよう、大好き泉川で学んだことをしっかりと心に刻んで日頃の生活に生かし、中学校へ進んでいきます。本当にありがとうございました。





## 見守り活動は子どもたちの為に

今、全校区的に見守り活動が行われているが、それは、不安定な社会の中、子どもたちを見守って行くことと言つもので、新居浜市に於いても、緑色のジャンパーに帽子、腕章をつけた見守り隊の人達の活動を目にする。一方、泉川校区に於いては、平成17年5月1日「泉川つ子見守りボランティアの会」が発足して以来、今日まで見守りボランティアの人達の活動に対する信念と情熱により、大きな事件事故もなく現在に至っています。会員数92名、実働数は70名位と考えられる。川東、岸の上、下泉、瀬戸寿、松木坂井、上泉、西喜光地、そして松原団地の有志のみなさんありがとございます。又、見守り活動だけでなく泉川小・中学校の学校支援の一環として、学校の授業、行事にも活動の場を広げ、まちづくり協議会への参加。安全安心部会の「危険箇所」「すてきな箇所」のマップづくり。健康づくり部会よりウォーキング大会への要望があり、見守り隊が参加交通指導も行いました。泉川校区の子ども達に素直な心を養い、失敗を恐れない前向きに問題を解決していく人に育ってほしい。見守り隊も子ども達の成長を楽しみにしています。

最後に、新居浜警察署の駅前交番、角野交番、パトカーのお巡りさんが泉川校区の安全安心を守る為、地道なパトロールを毎日行っていたいでいます。誠に有りがたう感謝の念にたえません。今後とも子ども達の為によりくお願いいたします。

「おいがつひおまわらぬと」



## 地域アドバイザーからの一言

これを見られた。あなたへ

地域のつながり（コミュニティ）地域で日々暮らす中で、見守りや支え合いが必要な高齢者世帯や一人暮らしの高齢者が増えています。

また、子どもなど弱者を狙った犯罪の発生、悪質商法や詐欺の横行、災害への不安といった課題も多く生じてきています。

そのような課題を解決するためには、同じ地域に暮らす住民みんなが地域に関心を持ち、自分のこととして考える必要があります。

しかし、地域では、人と人とのつながりが少なく、コミュニティや地域活動への参加意欲も低下してきています。安心して安全に暮らすための環境が十分とはいえません。

そうした中、これまでコミュニティを支えてきた「おたがいさま」「おかげさま」の気持ちを大切にしながら、地域住民の相互の信頼と共助の精神に基づき地域コミュニティの再生を図ることが求められています。

現在の、公民館に代表される身近な住民組織の充実はもちろん、地域のさまざまな団体が協力し合い、あらゆる地域課題に対応できるような新たなつながり、コミュニティの形成が必要となってきているのではないのでしょうか。

住民である「あなた」人任せ、行政任せではなく、地域社会に関心を持ち、自らできることを考え、まちづくりに参画しませんか。

今日から行動する「きょうDO」を胸に、より良い地域社会、くらしやすいまちを一緒につくっていきましょう。

## 公民館の姿は

館長 今西光昭

目指すべき公民館の姿は、

まず第一に、地域のみんなが自由闊達に議論できる場でありたいと思います。公民館は地域のみんなに地域の現状を明らかにし、何をなすべきかを決めていく場を提供しなければいけません。その議論を通じて、企画立案、情報提供、事業運営、評価改善のPDCAサイクルを循環させることが大切だと思つのです。

そして二番目には、化学反応を活性化させる触媒の役目を果たしたいと思つています。自分達が引っ張るのではなく、地域の住民の皆さんが自発的に動けるように促す役割を果たしたいのです。

いつの間にか、みんなが笑顔で気持ちよく、地域のためにがんばるようになるように仕事をしたいと思つています。

第三には、地域の様々な分野の活動を総合的に取り扱う、総合商社的な役割、事務局機能を果たすことが大事だと思つています。個々の団体の事務局はできませんが、地域全体の事務局に公民館がなれるように努力したいと思つています。黒子に徹し、みんなに愛されるような公民館になればいいです。



平成22年度 まちづくり協議会収支決算書

泉川まちづくり協議会

	収 入	備 考
21年度より繰越金	267,008	
火災警報器販売手数料	86,000	単式1,165個 連動式25個
資源ゴミ回収	19,100	8月、12月
寄付金	1,000,400	
じゃこ天、遊休品バザー	37,737	文化祭
社会福祉協議会泉川	120,000	感謝祭7万円 年りんの集い5万円
泉川連合自治会	19,486	泉川感謝祭
親睦会会費	25,000	泉川感謝祭
預金利息	103	
雑収入	5,000	
合計	1,579,834	

	予 算	事業内容	決 算	備 考
総務部会 (決算) 87,731	100,000	大好き泉川看板	54,600	看板40枚
		〃 アルミ足	17,640	
		消耗費	15,491	
安全安心部会 (決算) 347,363	350,000	マップ関連費	44,563	
		マップ代	302,800	1,200枚
健康づくり部会 (決算) 39,685	80,000	ゴーヤ教室	15,125	
		道路距離測定器	6,480	
		ウォーキング	18,080	
地域福祉部会 (決算) 287,955	300,000	泉川感謝祭	162,705	支出48,219
		ねんりんの集い	125,250	支出75,250
環境美化部会 (決算) 349,411	378,100	花植え 土代	149,625	
		花 種代	5,578	
		コンポスト	10,500	3基
		研修費	99,590	兵庫県西宮市
		肥料代	20,412	
		生ゴミ減量 泉中前美化整備	23,706 40,000	腐葉土、ピートモス
生涯学習部会	0		0	市の委託金から
こどもの育ちを支える部会	0		0	市の委託金から
合計	1,208,100		1,112,145	

23年度へ繰越金 467,689円

**平成23年度  
大好き泉川まちづくり  
寄付金のお願い**

泉川まちづくり協議会は、準備期間の実行委員会を得て、昨年4月に設立され、地域の皆様方のおかげでまちづくりの活動を行うことができました。  
これも偏にこれまでご支援頂きました事業者、商店、個人の皆様方の「思い」のおかげです。ありがとうございました。  
今後もより一層、泉川が温もりのある触れ合いあふれるまちにしていきたいとまちづくり協議会一同願っております。  
平成18年度から始めたこの寄付金制度です。  
まちづくりに共感して頂ける地域の皆様、是非、ご寄付にご協力下さい。  
寄付金は一口3,000円です。  
公民館でも随時受付しています。

**編集後記**

まちづくり協議会の活動を通じて、人と人、地域の中に顔見知りをごんごん増やしていきたいと思えます。そのためにも益々の協議会の発展が不可欠です。そして、公民館が協議会の総合的事務局として機能を充実させ、地域の人達に必要とされるよう、地域とともにある公民館をめざしてまいります。